

AnyConnect ネットワーク アクセス マネージャ ロギングを理解して下さい

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[イネーブル NAM ロギング](#)

[NAM パケットキャプチャを設定して下さい](#)

[収集を記録して下さい](#)

[NAM ログを読むこと](#)

[802.1X によってイネーブルになられている認証なしでネットワーク接続の要約を記録して下さい](#)

[802.1X を使用してネットワーク接続および有線ネットワーク上の PEAP の要約を記録して下さい](#)

概要

この資料に AnyConnect ネットワーク アクセス マネージャ (NAM) ロギングを有効にし、またログを集め解読する方法を記述されています。資料に含まれている例はクライアントを認証するためにネットワーク アクセス マネージャが踏むステップを反映するログおよび異なる認証シナリオを記述します。

前提条件

要件

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

NAM ロギングを有効に して下さい

NAM モジュールと関連しているかもしれない問題が識別されれば第一歩は拡張ログ記録機能を有効に することです。これはクライアント エンドポイントで NAM モジュールが動作している間する必要があります。

ステップ 1. AnyConnect ウィンドウを開き、確かめて下さいフォーカスにあることを。

ステップ 2.このキーコンビネーションを、左シフト + 去りました Alt + L.押して下さい。無応答があります。

ステップ 3. Windows システムトレイの AnyConnect アイコンの右クリック。メニューはポップアップします。

ステップ 4. **拡張記録**を選択して下さいそうすればチェックマークを表示してもらいます。NAM は今詳しいデバッグ メッセージを記録します。

NAM パケットキャプチャを設定して下さい

拡張ロギングがイネーブルになっているとき、NAM はまたパケットキャプチャ バッファ行を保存します。バッファは 1MB にデフォルトで約制限されます。パケットキャプチャが必要である場合、バッファサイズを増加することは有利であるより多くのアクティビティをキャプチャします。バッファを拡張するために、XML 設定ファイルは手動で修正する必要があります。

ステップ 1: Windows PC で、に参照して下さい:

C:\ProgramData\Cisco\Cisco AnyConnect セキュア モビリティ クライアント\ネットワーク アクセス マネージャ\システム\

ステップ 2.ファイルを開く internalConfiguration.xml。

ステップ 3. XML タグ <packetCaptureFileSize>1</packetCaptureFileSize> を見つけ、10 に 10MB バッファサイズのために値を、等合わせて下さい。

ステップ 4.実施されるために変更のためのクライアントPC をリブートして下さい。

収集を記録して下さい

NAM ログ収集は AnyConnect スイートのモジュールである診断およびレポーティング ツール (投げ矢) でされます。インストーラで、モジュールを選択し、AnnyConnect 完全なインストール ISO をインストールするのに使用して下さい。Ciscoメディア サービス インターフェイス (MSI) インストーラはまた ISO の中で見つけることができます。

拡張ロギングを単に有効にした、テストを行い、投げ矢を実行し、ダイアログを通過した後、ログバンドルはウィンドウズのデスクトップにデフォルトであります。

投げ矢バンドルに加えて、NAM メッセージ ログは NAM ログで関連データを見つけてまた有用です。NAM メッセージ ログを見つけるために、**AnyConnect Settings ウィンドウ > ネットワーク アクセス マネージャ > メッセージ ヒストリ**にナビゲートして下さい。メッセージ ログはログをイベントに関連した見つけるのに使用することができる各ネットワーク接続イベントのタイムス

ランプが含まれています。

NAM ログを読むこと

特に拡張ロギングを有効にした後、NAM ログはほとんどが関係がなく、無視することができる多量のデータが含まれています。このセクションは各ステップ NAM を示すためにデバッグ行を奪取します ネットワーク接続を確立するためにリストします。ログを通してはたらくとき、これらのキー句は問題に関連したログの一部を取付けて有用かもしれません。

802.1X によってイネーブルになられている認証なしでネットワーク接続の要約を記録して下さい

```
2016 17:20:37.974 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: Network test123: AccessStateMachine
current state = ACCESS_STOPPED, received userEvent = START
```

説明：これはユーザが NAM モジュールからネットワークを選択した、NAM は開始の userEvent 受け取りましたことを示し。

```
538: TESTPC: May 16 2016 17:20:37.974 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: Network test123:
AccessStateMachine new state = ACCESS_STARTED
```

```
539: TESTPC: May 16 2016 17:20:37.974 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: Network test123:
NetworkStateMachine current state USER_T_DISCONNECTED, received access event ACCESS_STARTED
```

説明：状態マシンにアクセスすればネットワーク状態 マシンは始動されました。

```
545: TESTPC: May 16 2016 17:20:37.974 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: Ipv4 {EFDAF0F0-CF25-
4D88-B125-E748CD539DFE}: received Cancel event [state: COMPLETE]
```

説明：得られた IPv4 例は状態をリセットするために取り消しました。

```
547: TESTPC: May 16 2016 17:20:37.974 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: starting
makeMatches...
```

```
549: TESTPC: May 16 2016 17:20:37.989 +0600: %NAM-6-INFO_MSG: %[tid=1412]: matching adapter
{484E4FEF-392C-436F-97F0-CD7206CD7D48} and network test123 ...
```

説明：ID 484E4FEF-392C-436F-97F0-CD7206CD7D48 のアダプタは NAM で設定されるネットワーク接続の名前であるネットワーク test123 に接続するために選択されました。

```
551: TESTPC: May 16 2016 17:20:37.989 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: Network test123:
AccessStateMachine new state = ACCESS_ATTACHED
```

```
557: TESTPC: May 16 2016 17:20:37.989 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: Network test123:
AccessStateMachine current state = ACCESS_ATTACHED, received userEvent = CONNECT
```

説明：NAM は正常にこのネットワークのためのアダプタを実行しました。この場合 NAM は関連付けることをワイヤレスであることを起こる) に (接続する) このネットワーク (試みます:

```
561: TESTPC: May 16 2016 17:20:37.989 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: ACE: adapter SM
current: state(STATE_DISCONNECTED_LINK_DOWN), event(EVENT_CONNECT)
```

```
562: TESTPC: May 16 2016 17:20:37.989 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: ACE: adapter SM
state change: STATE_DISCONNECTED_LINK_DOWN -> STATE_ASSOCIATING
```

```
567: TESTPC: May 16 2016 17:20:37.989 +0600: %NAM-6-INFO_MSG: %[tid=1412]: Starting wifi
connection, trying ssid test123 ...
```

```
568: TESTPC: May 16 2016 17:20:37.989 +0600: %NAM-6-INFO_MSG: %[tid=1412]: Connection
Association Started(openNoEncryption)
```

説明： openNoEncryption はネットワークが開いたで設定されることを示します。ワイヤレス LAN コントローラでそれは MAC 認証バイパス (MAB) を認証するのに使用します。

```
234: TESTPC: May 16 2016 17:20:38.020 +0600: %NAMSSO-7-DEBUG_MSG: %[tid=1912]: waiting for cs...
```

説明： CS は NAM ログでたくさん見られる場合があります。これらは関係がないログで、無視する必要があります。

```
575: TESTPC: May 16 2016 17:20:38.020 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: Network test123:
NetworkStateMachine new state USER_T_DISCONNECTED 236: TESTPC: May 16 2016 17:20:38.020 +0600:
%NAMSSO-7-DEBUG_MSG: %[tid=1912]: Tx CP Msg: <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?><SOAP-
ENV:Envelope xmlns:SOAP-ENV="http://schemas.xmlsoap.org/soap/envelope/"
xmlns:ssc="http://www.cisco.com/ssc" encodingStyle="http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/">
<SOAP-ENV:Body> <networkStateEvent> <sequenceNumber>16</sequenceNumber> <groupName>Local
networks</groupName> <networkName>test123</networkName> <networkState>Associating</networkState>
<adapterName>Intel(R) Centrino(R) Ultimate-N 6300 AGN</adapterName>
<serverVerifiedName></serverVerifiedName> </networkStateEvent> </SOAP-ENV:Body></SOAP-
ENV:Envelope>
```

説明：これらは AnyConnect GUI をこの場合関連付けのような接続ステータス メッセージを表示するように言うのに使用されるシンプル オブジェクト アクセスプロトコル (石鹼) メッセージです。NAM ウィンドウに表示されるどのエラーメッセージでも問題を容易に見つけるのに使用することができるログの石鹼メッセージの 1 つで見つけることができます。

```
582: TESTPC: May 16 2016 17:20:38.020 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: {484E4FEF-392C-436F-
97F0-CD7206CD7D48} - Received STATE_AUTHENTICATED
```

```
583: TESTPC: May 16 2016 17:20:38.020 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: ACE: adapter SM
current: state(STATE_ASSOCIATING), event(EVENT_AUTH_SUCCESS)
```

説明：NAM は現在起こった認証がないので誤解する AUTH_SUCCESS イベントを受け取ります。オープンネットワークに接続するので単に得ますこのイベントを、そうデフォルトで認証成功していますあります。

```
595: TESTPC: May 16 2016 17:20:38.738 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: Network test123:
AccessStateMachine current state = ACCESS_ASSOCIATING, received adapterState = associated
```

説明：サービス セット ID (SSID) へのアソシエーションは正常、時間を計ります認証を処理するためにです。

```
603: TESTPC: May 16 2016 17:20:38.754 +0600: %NAM-6-INFO_MSG:
```

```
%[tid=1412][mac=1,6,3c:a9:f4:33:ab:50]: Authentication not required.
```

```
604: TESTPC: May 16 2016 17:20:38.754 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: ACE: adapter SM
current: state(STATE_ASSOCIATED), event(EVENT_AUTH_SUCCESS)
```

```
605: TESTPC: May 16 2016 17:20:38.754 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: ACE: adapter SM
state change: STATE_ASSOCIATED -> STATE_AUTHENTICATED
```

説明：これはオープンネットワークであるので、デフォルトで認証されます。この時点で、NAM はネットワークに接続され、今 DHCP プロセスを開始します：

```
610: TESTPC: May 16 2016 17:20:38.754 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: {484E4FEF-392C-436F-
```

```
97F0-CD7206CD7D48} creating a new DHCP work
612: TESTPC: May 16 2016 17:20:38.754 +0600: %NAM-6-INFO_MSG:
%[tid=1412][mac=1,6,3c:a9:f4:33:ab:50]: {484E4FEF-392C-436F-97F0-CD7206CD7D48}: DHCP: Sending
DHCP request
613: TESTPC: May 16 2016 17:20:38.754 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: queueing DHCP work
642: TESTPC: May 16 2016 17:20:40.830 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1448]: Ipv4 {484E4FEF-392C-
436F-97F0-CD7206CD7D48}: connectivity test[03]: IP:10.201.230.196(255.255.255.224)
GW:10.201.230.193 [Success]
643: TESTPC: May 16 2016 17:20:40.830 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: Ipv4 {484E4FEF-392C-
436F-97F0-CD7206CD7D48}: received Success event [state: WAIT_FOR_CONNECTIVITY]
645: TESTPC: May 16 2016 17:20:40.845 +0600: %NAM-6-INFO_MSG:
%[tid=1412][mac=1,6,3c:a9:f4:33:ab:50]: {484E4FEF-392C-436F-97F0-CD7206CD7D48}: IP Address
Received: 10.201.230.196
646: TESTPC: May 16 2016 17:20:40.845 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: Ipv4 Connectivity
Result: SUCCESS
```

説明：NAM は IP アドレスの取得に成功します。

```
648: TESTPC: May 16 2016 17:20:40.845 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: ACE: adapter SM
current: state(STATE_AUTHENTICATED), event(EVENT_IP_CONNECTIVITY)
649: TESTPC: May 16 2016 17:20:40.845 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: ACE: adapter SM
state change: STATE_AUTHENTICATED -> STATE_CONNECTED
```

説明：IP アドレスが受け取られれば NAM はゲートウェイ (得接続) に ARP (アドレス解決プロトコル) 要求を送信します。ARP 応答が受け取られればクライアントは接続されます。

802.1X を使用してネットワーク接続および有線ネットワーク上の PEAP の要約を記録して下さい

```
1286: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.138 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: Network WiredPEAP:
AccessStateMachine new state = ACCESS_STARTED
```

説明：NAM はネットワーク WiredPEAP に接続し始めました。

```
1300: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.138 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: Binding adapter
Intel(R) 82579LM Gigabit Network Connection and user auth for network WiredPEAP
1303: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.138 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: Network WiredPEAP:
AccessStateMachine new state = ACCESS_ATTACHED
```

説明：NAM はこのネットワークにアダプタを一致させました。

```
1309: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.138 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: Network WiredPEAP:
AccessStateMachine current state = ACCESS_ATTACHED, received userEvent = CONNECT
1342: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.154 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1468][comp=SAE]: STATE (4)
S_enterStateAux called with state = CONNECTING (dot1x_sm.c 142)
```

説明：この有線ネットワークに NAM によって開始される接続。

```
1351: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.154 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1468][comp=SAE]: 8021X (4)
Sent start frame (dot1x_sm.c 117)
```

説明：クライアントは EAPOL_START を送信します。

```
1388: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.154 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1468][comp=SAE]: PORT (3)
net: RECV (status: UP, AUTO) (portMsg.c 658)
1389: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.154 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1468][comp=SAE]: 8021X (4)
recvd EAP IDENTITY frame (dot1x_util.c 264)
1397: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.154 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1468][comp=SAE]: EAP (0)
EAP State: EAP_STATE_IDENTITY (eap_auth_client.c 940)
```

説明：クライアントはスイッチから送信するために Identity 要求を、それ今探しますクレデンシャルを受け取ります。

```
1406: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.154 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1464]: EAP-CB: credential
requested: sync=8, session-id=1, handle=00AE1FFC, type=AC_CRED_SESSION_START
1426: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.169 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: EAP: processing
credential request: sync=8, session-id=1, eap-handle=00AE1FFC, eap-level=0, auth-level=0,
protected=0, type=CRED_REQ_SESSION_START
1458: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.169 +0600: %NAM-6-INFO_MSG: %[tid=1412]: Trying fast
reauthentication for unprotected identity anonymous
1464: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.169 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: EAP: credential
request completed, response sent: sync=9
```

説明：デフォルトで、Anyconnect は無防備識別 (outer 識別) として匿名を、そうここにそれ
試み、匿名をサーバがそれと良いかどうか見ます送信します。識別がホストに対して匿名/匿名
であるというファクトはマシン 認証よりもむしろそれがユーザ認証であることを、示します。

```
1492: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.185 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1468][comp=SAE]: 8021X (4)
recvd EAP TLS frame (dot1x_util.c 293)
```

説明：RADIUSサーバは内容なしで拡張可能認証プロトコル転送層セキュリティ (EAP-TLS) フ
レームを送信します。その目的はクライアントと EAP-TLS プロトコルをネゴシエートすること
です。

```
1516: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.185 +0600: %NAM-6-INFO_MSG: %[tid=1412]: EAP: EAP suggested
by server: eapTls
1517: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.185 +0600: %NAM-6-INFO_MSG: %[tid=1412]: EAP: EAP requested
by client: eapPeap
1518: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.185 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: EAP: EAP methods
sent: sync=10
1519: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.185 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]: EAP: credential
request 10: state transition: PENDING -> RESPONDED
```

説明：NAM は EAP-TLS を使用するサーバの要求を認識しますが、クライアントは Protected
Extensible Authentication Protocol (PEAP) を使用するために設定されます。これは NAM が

PEAP のためのカウンターオファーを送返すという原因です。

```
1520: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.185 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]:
Auth[WiredPEAP:user-auth]: Authentication state transition:
AUTH_STATE_UNPROTECTED_IDENTITY_SENT_FOR_FAST_REAUTHENTICATION ->
AUTH_STATE_UNPROTECTED_IDENTITY_ACCEPTED
```

説明：RADIUSサーバは outter/無防備識別を受け入れます。

```
1551: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.200 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1468][comp=SAE]: 8021X (4)
recvd EAP PEAP frame (dot1x_util.c 305)
1563: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.200 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1468][comp=SAE]: EAP (0)
EAP-PEAP: SSL handshake start (eap_auth_tls_p.c 409)
```

説明：PEAP の保護された部分は（セキュアトンネルを内部信任状を交換するために確立するため）PEAP の使用を続けるためにクライアントが RADIUSサーバから確認を受け取った後、開始します。

```
1565: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.200 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1468][comp=SAE]: EAP (0)
SSL STATE: SSLv3 write client hello A (eap_auth_tls_p.c 394)
1566: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.200 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1468][comp=SAE]: EAP (0)
SSL STATE: SSLv3 read server hello A (eap_auth_tls_p.c 394)
```

説明：NAM は EAP メッセージでカプセル化されるクライアント HELLO を送信し、来るためにサーバHello を待っています。サーバの HELLO は ISE 証明書が含まれています、従って転送することを終わる時間がかかります。

```
1622: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.216 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1468][comp=SAE]: 8021X (4)
recvd EAP PEAP frame (dot1x_util.c 305)
1632: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.216 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1468][comp=SAE]: EAP (0)
SSL STATE: SSLv3 read server hello A (eap_auth_tls_p.c 394)
1633: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.216 +0600: %NAM-6-INFO_MSG: %[tid=1468][comp=SAE]: CERT (0)
looking up: "/CN=ISE20-1.kurmai.com" (lookup.c 100)
1634: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.232 +0600: %NAM-6-INFO_MSG: %[tid=1468][comp=SAE]: CERT (0)
Certificate not found: "/CN=ISE20-1.kurmai.com" (lookup.c 133)
1646: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.232 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1468][comp=SAE]: EAP (0)
SSL_ERROR_WANT_X509_LOOKUP (eap_auth_tls_p.c 193)
```

説明：NAM はサーバ証明から ISE サーバのサブジェクト名を得ました。それに信頼記憶装置にインストールされるサーバ証明がないのでそれをそこに見つけません。

```
1649: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.232 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1468][comp=SAE]: EAP (5)
EAP_EVENT_CRED_REQUEST queued (eapCredProcess.c 496)
1650: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.232 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1464][comp=SAE]: EAP (5)
EAP: CRED_REQUEST (eapMessage.c 355)
1662: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.232 +0600: %NAM-6-INFO_MSG: %[tid=1412]: Getting credentials
from logon.
1685: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.232 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]:
Auth[WiredPEAP:user-auth]: ...resumed
```

説明：NAM はトンネルが確立された後 RADIUSサーバに送信されるべき内部の/保護された識別を探します。この場合、「自動的に Windows ログオン名前を使用すればパスワード」オプションは配線されたアダプタでイネーブルになっていました、従って NAM はそれをユーザに頼むかわりにウィンドウ ログオン クレデンシャルを使用します。

```
1700: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.247 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1464][comp=SAE]: EAP (0)
SSL STATE: SSLv3 write client key exchange A (eap_auth_tls_p.c 394)
1701: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.247 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1464][comp=SAE]: EAP (0)
SSL STATE: SSLv3 write change cipher spec A (eap_auth_tls_p.c 394)
1750: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.278 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1468][comp=SAE]: EAP (0)
SSL STATE: SSL negotiation finished successfully (eap_auth_tls_p.c 394)
1751: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.278 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1468][comp=SAE]: EAP (0)
EAP-PEAP: SSL handshake done (eap_auth_tls_p.c 425)
1752: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.278 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1468][comp=SAE]: EAP (0)
EAP-PEAP: New session. (eap_auth_tls_p.c 433)
1753: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.278 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1468][comp=SAE]: EAP (0)
EAP-PEAP: session cipher AES256-SHA. (eap_auth_tls_p.c 441)
```

説明：NAM はサーバに Client 鍵暗号 spec を送り、確認を受け取りました。SSL ネゴシエーションは正常であり、トンネルは確立されます。

```
1810: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.294 +0600: %NAM-6-INFO_MSG: %[tid=1412]: Protected
identity/(Username) sent.
1814: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.294 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]:
Auth[WiredPEAP:user-auth]: Authentication state transition:
AUTH_STATE_UNPROTECTED_IDENTITY_ACCEPTED -> AUTH_STATE_PROTECTED_IDENTITY_SENT
1883: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.310 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]:
Auth[WiredPEAP:user-auth]: Authentication state transition: AUTH_STATE_PROTECTED_IDENTITY_SENT -
> AUTH_STATE_PROTECTED_IDENTITY_ACCEPTED
```

説明：保護された識別は識別を受け入れるサーバに送信されます。この場合 Server 要求パスワード。

```
1902: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.310 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1464][comp=SAE]: EAP (5)
deferred password request (eapRequest.c 147)
1918: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.310 +0600: %NAM-6-INFO_MSG: %[tid=1412]: Protected password
sent.
1921: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.325 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]:
Auth[WiredPEAP:user-auth]: Authentication state transition:
AUTH_STATE_PROTECTED_IDENTITY_ACCEPTED -> AUTH_STATE_CREDENTIAL_SENT
```

説明：NAM は Password 要求を受け取り、サーバにパスワードを送ります。

```
2076: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.856 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1412]:
Auth[WiredPEAP:user-auth]: Authentication state transition: AUTH_STATE_CREDENTIAL_SENT ->
AUTH_STATE_SUCCESS
2077: TESTPC: May 16 2016 17:55:17.856 +0600: %NAM-7-DEBUG_MSG: %[tid=1468][comp=SAE]: STATE (4)
S_enterStateAux called with state = AUTHENTICATED (dotlx_sm.c 142)
```

説明：サーバはパスワードを受け取り、確認し、EAP 成功を送信します。認証はこの時点で正常であり、クライアントは DHCP からそれとして得ます IP アドレスを続行します。